

「第5回 来て、見て、知って、楽しんで 秋の中心市街地活性化連携事業」歴史風土講演会
 「熊野比丘尼と熊野親心十界曼荼羅」現代に繋がる地獄・極楽のイメージ

16世紀から18世紀にかけて 全国に熊野信仰を伝播した遊行女性宗教者・熊野比丘尼たちは「絵解き」と呼ばれる宗教画を使用したとされる熊野親心十界曼荼羅にはインド仏教経典には見られない世界観が展開され、その多くは中世以降に図像化されたものだと言われています。ここに描き出された地獄極楽のイメージは現代にも連綿と受け継がれています。

また、三重県内で13件の発見事例のあるこの曼荼羅は、基本構造は類似しているものの、細部において完全に一致するものではありません。その微妙な差異もこの曼荼羅を鑑賞する面白みです。

この講演会は11月1日から1か月の間、大門いこにこ広場や大門、丸ノ内、新町の3つの商店街、松菱、津市が連携し、まち全体の活性化を図ることを目的とした「第5回 来て、見て、知って、楽しんで 秋の中心市街地活性化連携事業」の一環として開催されます。津と伊勢と熊野を繋ぐ企画展示を松菱・津センターパレスで行いますので、併せてご鑑賞ください。また、10月11日から11月24日の間、三重県総合博物館特別展「祈りと癒しの地 熊野」が開催されています。そちらも是非ご鑑賞ください。

2014 11/15 (土)
 13:30~15:30

プログラム:

- 13:00 開場、受付開始
- 13:30 開会の挨拶(津市長 前葉泰幸氏 予定)
講師紹介
- 13:40 講演会開始
- 15:10 質疑応答
- 15:25 閉会の挨拶
- 15:30 講演会閉会

会場:津アストホール(津市羽所町700)

講師:瀧川和也氏

(三重県総合博物館MieMu 主幹学芸員)

参加費:無料

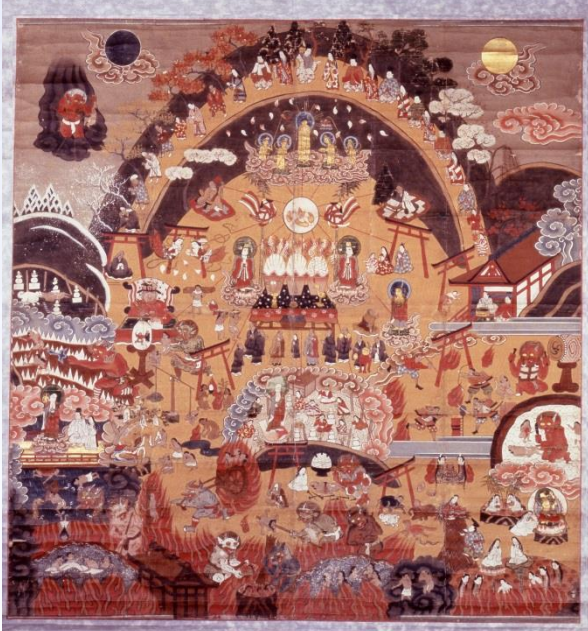
定員になり次第受付を締め切らせていただきます。参加希望の方は「氏名」「ご連絡先」を下記の連絡先までお知らせください。
 連絡先:三重大学 地域戦略センター
 E-Mail: rasc-info@crc.mie-u.ac.jp
 TEL:059-231-9899



津市 神戸第一・第二自治会(新光寺保管)



度会郡 宝泉院



津市 栗真観音寺

主催:三重大学地域戦略センター 共催:津市